

小児救急対応ガイド

こちらの面の応急手当は
窒息、やけど、出血時の方法をお伝えします。

↓そのほかのお役立ち情報↓

急な病気やけがで
救急車を呼ぶか迷ったら…



電話から

シャープ # 7 1 1 9

または 045-232-7119 年中無休 24時間対応

※ダイヤル回線・IP電話からはこちら

救急受診できる病院・診療所を知りたい 1 番を選択

今すぐに受診すべきか救急車を呼ぶべきか 2 番を選択

ご家庭に事故のリスクが無いか
確認できるページはこちら

こどもの
事故予防



横浜市HP
こども青少年局

たばこ、洗剤、化粧品などの
誤飲事故が起こったとき

大阪中毒110番 (24時間対応)

☎072-727-2499

つくば中毒110番 (9時から

☎029-852-9999 21時対応)

公益財団法人日本中毒情報センター

医療の視点 横浜市医療局
YOKOHAMA

2版 (2022年11月改定)

出血時の対応

☆大量に出血している場合や
出血が止まらない場合には、
救急車を呼びましょう。

- ・清潔なガーゼやハンカチ、
タオルなどを重ねてきず口に
当て、その上から出血部位を
指先や手のひらで強く圧迫し
ます。
- ・大きな血管からの出血の場合
で、片手で圧迫しても止血し
ないときは、両手で体重を乗
せながら圧迫します。

やけどの対応

☆やけどをしたら、流水で
すぐに冷やしましょう。
☆やけどの範囲が広い場合や
顔面や陰部のやけど、または
皮膚が焦げていたり白くなっ
て痛みを感じないような深い
やけどの場合には、すぐに救
急車を呼びましょう。

- ・氷や冷却パックで冷やす必要は
ありません。
- ・広い範囲にやけどをした場合
全身の体温が下がるほどの
冷却は避けましょう。
- ・水ぶくれ（水泡）は
破らないようにしま
しょう。



窒息の対応

のどに物が詰まった！唇が紫色！呼吸ができない！
呼吸をしていないときや顔色がおかしい場合は救急車を呼びましょう

背部叩打法

- ・片方の腕に乳児をうつぶせに
乗せます。
- ・手で乳児のあごをしっかりと持ち、
頭部が低くなるような姿勢にし
ます。
- ・もう一方の手のひらの
付け根で、背部を力強く
数回連続してたたき
ます。



胸部突き上げ法

- ・片方の腕に乳児の背中を乗せ、
手のひら全体で乳児の後頭部
をしっかりと支えます。
- ・頭部が低くなるよう仰向け
にし、もう一方の手
の指2本で、両乳頭
を結ぶ線の少し
足側を目安とする
胸骨の下半分を、
力強く数回連続
して圧迫します。



窒息の対応

腹部突き上げ法

1
歳
以
上

- ・後ろからウエスト付近
に手を回します。
- ・片手で握りこぶしを作り、
その親指側を子どものへそ
より少し上に当てます。
- ・その手をもう一方の
手で握り、すばやく
手前上方に向かって
圧迫するように
突き上げます。



実演動画

窒息の対応方法等が
わかりやすい動画を
紹介します。

視聴はこちらから→



東京消防庁youtubeチャンネル
横浜市のHPではありません

小児の応急手当再生リスト

1. 乳児：胸部突き上げ法
2. 乳児：背部叩打法
3. 窒息の応急手当
4. 成人・小児：背部叩打法
5. 成人・小児：腹部突き上げ法
6. 心配蘇生
7. 小児の心配蘇生（AED含む）
8. 人工呼吸

こちらの面の応急手当は
熱性けいれん、熱中症の方法をお伝えします。

↓そのほかのお役立ち情報↓

急な病気やけがで
救急車を呼ぶか迷ったら…

電話から

ダイヤル # 7 1 1 9

または 045-232-7119 年中無休 24時間対応
※ダイヤル回線・IP電話からはこちら

救急受診できる
病院・診療所を知りたい


1 番号を選択

今すぐを受診すべきか
救急車を呼ぶべきか

2 番号を選択

夜間や休日などに
病院を受診するかどうか、
判断に役立つ情報はこちら

ONLINE QQ
こどもの救急



公益社団法人日本小児科学会

休日診療所・夜間急病センター

施設一覧



横浜市HP
医療局

医療の視点 横浜市医療局
YOKOHAMA

熱性けいれんの対応

熱性けいれんとは

- 発熱で起こるけいれんで
1～4歳くらいに多く
見られます。
- 通常は数分で自然とおさま
りますので、慌てずに落ち着
いて対応しましょう。



熱性けいれんの注意点

- ☆ **大声で名前を呼ばない!**
- ☆ **身体をゆすらない!**

刺激となり、けいれんが
長引く場合があります。

- ☆ **口の中に物を入れない!**

熱性けいれんで舌を噛むことは
ほとんどありません。
噛む力はかなり強いので物や指を
入れることは危険です。

熱中症の対応

- ☆頭痛、吐き気、嘔吐、注意力の散漫などがある場合には、
病院を受診しましょう。
- ☆意味不明な言動があるなど意識が朦朧としていたり、
体温が極端に高い場合は、**すぐに救急車を呼びましょう。**

- ① **涼しい環境に退避させる。**
風通しのよい日陰や冷房が効いている室内などが適しています。
- ② **衣服を脱がせ、体を冷やす。**
 - ・衣服を脱がせて皮膚を露出し、あまり汗をかいていないようであれば、皮膚に水（冷たい水よりぬるい水が効果的）をかけて濡らしながらうちわなどで風を当てます。
 - ・氷のうや冷却パックで首、脇の下、太ももの付け根などを冷やしましょう。頬、手のひら、足の裏でも効果的です。

☆ **水分と塩分、糖分の補給も重要!**

熱性けいれんの対応

けいれんが長く続くときは、救急車を呼びましょう。

- ① 慌てず、安全で平らな場所に
仰向けに寝かせましょう。
- ③ けいれんの状態を
確認しましょう。

☆吐きそうな場合は、
吐いたものがのどに
詰まらないように
顔と体を横に向かせましょう。



☆腕や足が
ガクガクしているのか、
ギューツとしているか
など**身体の動きに注意!**

- ② けいれんが始まった時間
を確認しましょう。
衣類をゆるめて熱を測り
ましょう。

